



いつもの街に、
いつもどおりの
毎日。

守りたい街があります。守りたい暮らしがあります。かけがえのない毎日を大切にしたいから。私たちは、暮らしの中のガスをより安全に使っていただくために、さまざまな工夫や対策を行っています。いつも皆様のそばで快適な暮らしをサポートしています。お客様の安心が、私たち西部ガスの使命です。

西部ガス

日本タングステン



馬場 信哉 社長

世界一の品質を目指す

東日本大震災やタイの洪水による受注への影響は多少あったが、現在は回復している。ただし例年の今ごろなら年度末の駆け込み需要があるが、今年はない。震災などで顧客の生産が回復していない。そのような状況に対応するために、技術力と開発力の強化に第一に取り組む。ライバルメーカーとの競争はますます厳しくなる。これまで培ってきた技術を基に品質を向上させていくしかない。コア技術、コア製品と呼べるものについては、絶えず世界一の品質を目指していく。新商品開発は成果が上がった。

正興電機製作所



井上 信之 社長

現地生産の人材育成が重要

昨年は創立90周年であり、中期経営計画の最終年度という節目の年だった。そのような中で発生した東日本大震災は、上下水道の制御システムなど社会インフラシステムの受注減につながるなどの影響を受けた。震災で当社の省エネ関連技術への注目が高まっている。その一つが蓄電システムだ。同システムの技術を生かした家庭用燃料電池「エネファーム」用停電対応装置も製品化している。蓄電と電力制御の技術は今後拡大する太陽光発電でも活用が見込める。当社が持つ情報技術と組み合わせて、中国でスマートグリッド(次世代電力網)でも必要になるだろう。今後の課題はコスト競争力だ。そのために中国などでの現地生産を拡大したい。日本の顧客に認めてもらいたい品質を保ちながら生産を拡大するには人材育成が重要。現地技術者への日本での研修にさらに力を入れる。

経済成長が著しいアジア市場。九州が誇るモノづくり企業も、新しい活路を見いだそうと同市場の開拓に乗り出している。国内で磨き上げたオンリーワンの技術に加えて、事業展開の戦略や人材育成に至るまで徹底したグローバル化を進める。そうした企業経営者6人に保有する技術の魅力について聞いた。

2012
九州経済最前線

アジアで見いだす新機軸

リーダー企業紹介

西部技研



隈 扶三郎 社長

中国生産でコスト削減

デシカント除湿器や空調機、熱交換機などを製造販売している。2011年12月期は当初好調で、東日本大震災でも取引先に直接の被害はなかった。だが設備投資が見合わされたため、7・9月は受注が落ち込んだ。だが同期末になると、やはり実施されることになり復調した。12月期に入っても、引き続き堅調な動きだ。

当社は売上高の約3割が海外での販売だ。海外市場では中国と米国は活況で、引き合いが多い。一方で欧州はロシアに端を発した債務危機により、少し落ちてきている。ドイツや北欧などで受注がスローダウンしている。

(福岡県古賀市)

本多機工



龍造寺 健介 社長

九州の技術は世界に通用

海外売上高比率は約4割。2011年8月期は中国向けが最多だったが、12年8月期はインドネシアとタイの売り上げが上回っている。インドネシアは石油化学プラント新設などに伴って、タイは洪水による復興需要が出た。たが競争は激しさを増しており、先行きを見通せない。東北の火力発電所に排煙脱硫用大型循環ポンプを初納入した。提携先である独スノーカーは、素材にシリコンカーバイドを使いステンレスなどに比べて約3倍の耐久性がある。欧米のメーカーと提携し、トータルソリューションを提供できる体制を整えている。当社ではユニアジアやカナダなど外国籍の社員が働いており、国内で学ぶ留学生は高度人材として十分に活用できている。

(福岡県嘉麻市)

昭和鉄工



山本 駿一 社長

アジア向け輸出に期待

東日本大震災によって注文にストップがかかり、そのままだけで消滅した。一方、独立型のクーラーが福島第一原子力発電所の復旧作業に採用され、全体として東日本大震災の影響は思ったより小さかった。アジア市場に関しては空調機に可能性がある。特に中国の東北地方に売り込めるのではないかと。また除湿器を行うデシカント空調機も売り込みたい。同機は湿度が高い東南アジアに向く。薄型ディスプレイ(FPD)の生産に用いられるサーモパイスも中国への輸出の可能性はある。その場合はパートナーである韓国のメーカーを通じてとなるだろう。

西部電機



木村 龍 社長

販売と資材調達を拡大

アジア戦略は中国を中心、販売と資材調達の拡大を図っている。マテハンなど搬送機械事業は国内市場がメインだが、中国に代理店を設けてこれから販路を拡大する。コスト競争力向上が必要で、一部に中国に進出。最新鋭機を投入して、市場開拓する。委託生産している現地生産拠点に、調達の部分でも可能性を探っている。商品力を磨いて、産業界の売上高50億〜60億円を目指す。

低電圧から高電圧へ 発電機試験を変えた! 省力化、高分解能試験を実現。

RESI-MASTER 6600

安定した絶縁特性

高絶縁、高耐圧、低漏洩電流(20mA以下)を実現。高分解能10kWから安定した試験が行えます。

稼働率が高いコンテナ型

抵抗ユニット、制御装置を組み込んだ一体構造だから移動・設置が容易に行えます。

乾式のため安全性が高い

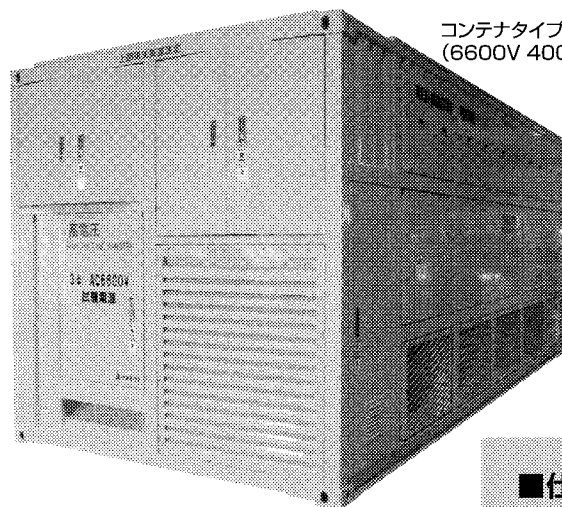
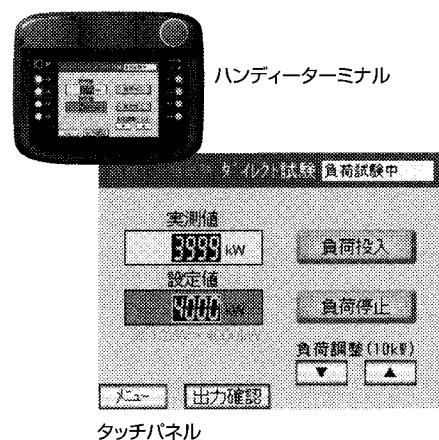
水を含まない乾式構造で感電・漏電の心配がなく、洋上試験も可能です。また、環境に影響を与えません。

試験準備が容易

ロードワイヤーの本数が少なく、敷設が簡単に行えます。

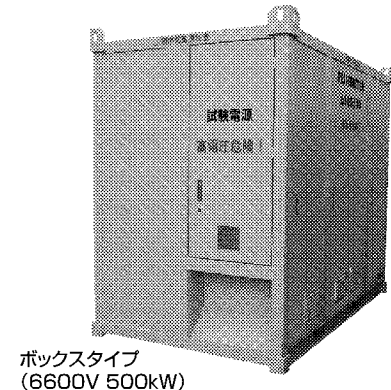
簡単操作

対話式タッチパネルを採用、操作が簡単に行えます。



コンテナタイプ
(6600V 4000kW)

最大負荷容量、最小分解能など
仕様変更による
オーダーメイドが可能です。
コンテナタイプ、ボックスタイプが選べます。



ボックスタイプ
(6600V 500kW)

■仕様
制御電源: 3φ AC450V 50/60Hz
負荷容量: 4000kW
最小分解能: 10kW
定 格: 連続
試験電圧: 3φ AC6600V 60Hz
力 率: PF=1.0
質 量: 10,500kg
遠隔操作: ハンディターミナル
(操作ケーブル100m)

[製造販売元]

赤司電機株式会社

福岡県遠賀郡遠賀町大字鬼津1688-2 〒811-4341
TEL 093-293-6911 FAX 093-293-6915
http://www.akashidenki.co.jp

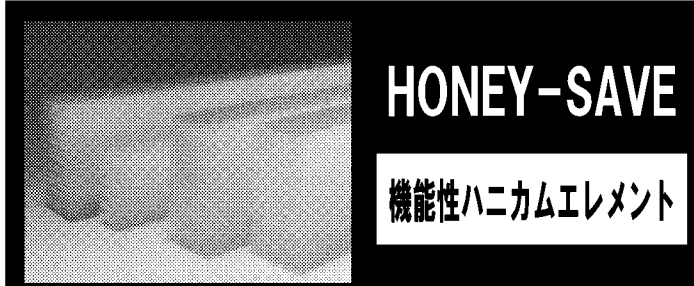
省エネ・環境・低湿空調のリーディングカンパニー 株式会社西部技研



DRY-SAVE

デシカント除湿機

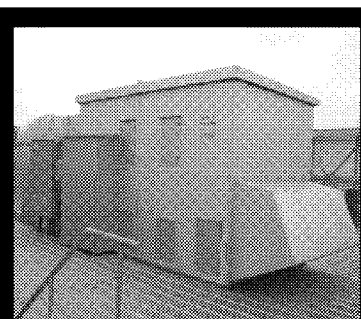
化学吸着剤を使用しない活性シリカによるハニカムローターを世界で初めて開発。様々な素材を用いたローターを搭載した高性能除湿機を次々と商品化しています。



HONEY-SAVE

機能性ハニカムエレメント

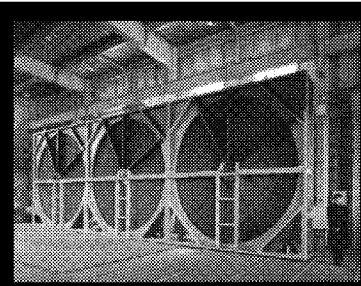
様々な素材のコーティング加工・機能材の担持技術で脱臭、除塵、整流、ケミカル除去、オゾン分解などあらゆるニーズに応えたフィルターを創出しています。



HI-PANEX

イオン吸着式
全熱交換器

建物の空気を換気する際の排気エネルギーを回収し、給気側へ供給する省エネルギー機器です。



SKY-SAVE

VOC濃縮装置
/VOC濃縮燃焼装置

疎水性ゼオライトを含浸したハニカムローターに工場等からの排気中の有機溶剤を吸着、濃縮除去することにより後段の燃焼装置等の大幅な負荷低減と省エネルギーを実現する装置です。

Passion for Green Innovation
株式会社 西部技研
www.seibu-giken.com

本社 福岡県古賀市青柳3108-3 〒811-3134 TEL:092-942-3511 FAX:092-942-3761
TEL:03-3356-3060 FAX:03-3356-0365
東京支店 TEL:022-263-3071 FAX:022-263-3072
仙台営業所 TEL:052-709-3051 FAX:052-709-3052
名古屋営業所 TEL:06-6305-9251 FAX:06-6305-8824
大阪営業所 E-mail:info@seibu-giken.co.jp